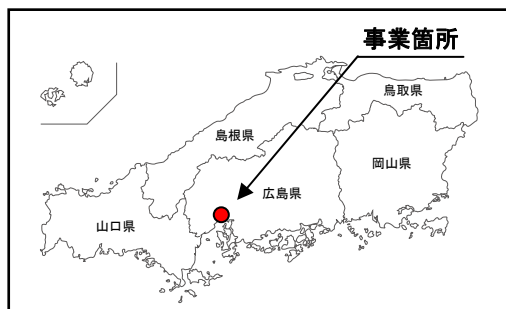


事業推進



凡例:

河川直轄整備区間



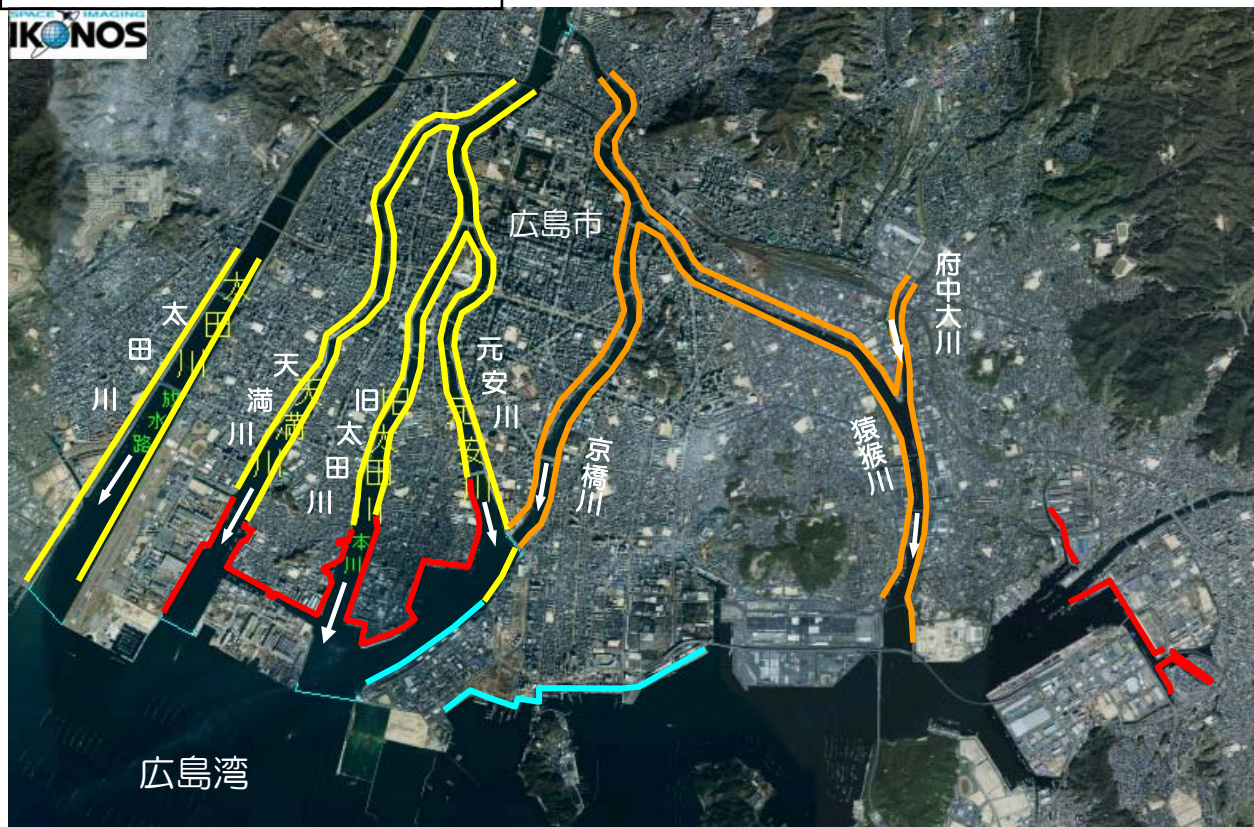
河川補助計画区間



海岸直轄計画区間



海岸補助計画区間



広島デルタに発達した広島市街地は、高潮による浸水被害を受けやすく、また、大規模な地震による液状化により既存施設が被害を受けた場合には甚大な被害が発生します。このため、広島デルタを守ることを目的として、市、県、国が連携して高潮対策事業を実施しています。

なお、早期に事業を完成させるため、河川区域内においては河川事業により、港湾区域内においては海岸事業により高潮対策事業を促進します。

海岸事業区間について

広島港海岸は、過去から再々台風高潮被害を受けており、平成16年の台風でも大規模な高潮被害を受けました。また、切迫した東南海・南海地震被害を防止する必要があります。直轄海岸区間については平成18年度より順次現地着工し、平成21年度は南観音箇所と吉島箇所の高潮対策事業、及び船越箇所と矢野箇所の現地着工に向けた調査を推進します。



期待される整備効果

- ・広島市街地に大きな浸水被害をもたらした、平成16年の高潮が再び発生した場合にも浸水被害の発生を防ぐことができます。
- ・大規模地震による液状化及び津波から市民の生命と資産を守り、誰もが安全に安心して暮らせる地域が実現します。